

米子工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	校外実習
科目基礎情報						
科目番号	0046		科目区分	専門 / 選択		
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年	4		
開設期	集中		週時間数			
教科書/教材						
担当教員	角田 直輝					
到達目標						
(1) 企業等の活動について説明することができる。 (2) 高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性について説明することができる。 (3) 自身のキャリア・デザインを明確化するために積極的な行動ができる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	技術者の実務を理解した上で、企業等の活動について説明することができる。		ある程度、技術者の実務を理解した上で、企業等の活動について説明することができる。		技術者の実務を理解できず、企業等の活動について説明することができない。	
評価項目2	高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性および技術者として自身に必要な能力について説明することができる。		ある程度、高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性および技術者として自身に必要な能力について説明することができる。		高専で学んだ知識・技術と企業等の活動との関連性および技術者として自身に必要な能力について説明することができない。	
評価項目3	積極的な行動により、自身のキャリアの方向性を定めることができる。		ある程度、積極的な行動により、自身のキャリアの方向性を定めることができる。		消極的な行動により、自身のキャリアの方向性を定めることができない。	
学科の到達目標項目との関係						
学習・教育到達度目標 C-1 学習・教育到達度目標 E-3 JABEE f JABEE g						
教育方法等						
概要	本科目では、学生が民間企業、政府・地方自治体、公益法人等（以下、「企業等」という）の現場において実習・研修を行い、実社会での就業を体験する。校外実習の目的は、企業等での就業体験を通して、学生の学習意欲を向上させるとともに、高い職業意識を涵養し、責任感や自立心などを醸成することにある。					
授業の進め方・方法	1) 受入企業等の調査を行い、実習先の決定等について、担任と相談する。 2) 本科目の意義と目的、実習・研修中の注意事項等に関する事前教育を受ける。 3) 長期休業中に、5日以上の実習・研修等を企業等で実際に行う。 4) 終了後、校外実習報告書および校外実習証明書を提出する。 5) 校外実習報告会において、実習・研修等の成果を報告する。					
注意点	授業計画の日程は実際とは異なる、担任からの連絡や掲示物等をよく確認すること。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	企業等の調査		受入れ企業等の調査を行うことができる。	
		2週	実習の申込書や履歴書等の作成		実習希望先の指定する申請書や履歴書等を作成することができる。	
		3週	学内ガイダンス		本科目の意義と目的、実習・研修中の注意事項等について説明することができる。	
		4週	実施		実習先において5日以上の実習を行うことができる。	
		5週	報告書提出		実習で得られた成果を報告書としてまとめることができる。	
		6週	発表スライド提出		実習で得られた成果をまとめた発表スライドを作ることができる。	
		7週	発表		実習で得られた成果を報告会において発表することができる。	
		8週				
	2ndQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				

		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	50	0	0	0	50	100	
基礎的能力	0	50	0	0	0	50	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	